

2 歳出

(1) 健康・福祉・子育て

《施策別成果動向一覧》

節	番号	施策名	成果動向	まちづくり指標の推移						成果指標の推移							
				対基準値			対前年度			対基準値				対前年度			
				改善	横ばい・維持	悪化	改善	横ばい・維持	悪化	改善	横ばい・維持	悪化	比較不可	改善	横ばい・維持	悪化	比較不可
健康	1	個人の自主的な健康づくりを支援する	順調	3	0	0	2	0	1	3	0	0	0	2	0	1	0
	2	健康づくりを支援する社会環境をつくる	横ばい	1	0	0	0	0	1	1	0	2	0	1	0	2	0
地域医療	3	地域医療を守り、医療が身近なところで、安心して受けられる環境をつくる	順調	1	0	0	1	0	0	3	0	0	0	3	0	0	0
高齢者支援	4	地域で支えあう環境をつくる	順調	1	0	0	1	0	0	5	0	0	0	3	0	2	0
	5	高齢者の保健・介護・福祉サービスを充実させる	順調	1	0	0	1	0	0	3	1	2	0	2	0	4	0
障がい者支援	6	障がい者に対する理解を深める	順調	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0
	7	障がい者の福祉サービスを充実させる	順調	2	0	0	2	0	0	4	0	0	0	1	0	3	0
子育て支援	8	結婚活動を応援し、子育て支援サービスを充実させる	横ばい	1	0	0	0	0	1	3	0	2	0	2	0	3	0
	9	子どもが健やかに育つ地域社会をつくる	順調でない	1	0	1	2	0	0	2	0	2	0	1	0	3	0

《まちづくり評価委員会の評価》

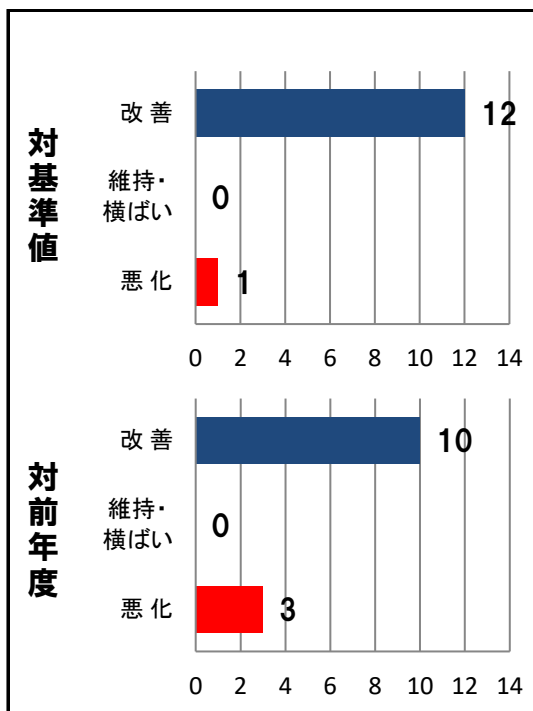
「健康・福祉・子育て」分野では、まちづくり指標等の動向から判断して、施策の成果動向は、「順調」が6施策、「横ばい」が2施策、「順調でない」が1施策となり、分野全体の成果動向は、「順調」と評価する。

健康づくりの取り組みやその効果について、市民に広く理解される工夫が必要であるほか、地域医療の充実やマイナンバーカードを活用した医療サービスの向上も重要である。認知症の方とその家族への支援を充実させ、地域で支え合う環境を整える必要がある。

また、後期高齢者に対する具体的な対策や、多様化するニーズに対応するための施策の見直しが必要であり、障がい者支援の充実や子育て支援も重要な課題である。

- [施策1] まちづくり指標、成果指標の動向から「順調」と評価する。
- [施策2] まちづくり指標、成果指標の動向から「横ばい」と評価する。
- [施策3～7] まちづくり指標、成果指標の動向から「順調」と評価する。
- [施策8] まちづくり指標、成果指標の動向から「横ばい」と評価する。
- [施策9] まちづくり指標、成果指標の動向から「順調でない」と評価する。

《まちづくり指標の状況》



〔10年後めざそう値を達成した指標〕

0001	健康寿命（男性）
0002	健康寿命（女性）
0005	安心して医療を受けられる環境が整っていると感じている人の割合

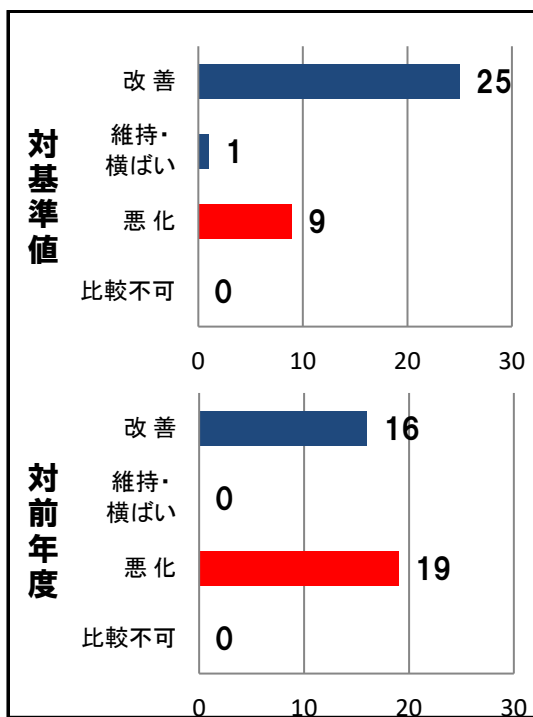
〔基準値と比較して改善した主な指標〕

0003	健康づくりの取り組みをしている人の割合
0007	高齢者のサービスなどが充実していると感じている人の割合

〔基準値と比較して悪化した指標〕

0013	児童館総来館者数
------	----------

《成果指標の状況》



〔基準値と比較して改善した主な指標〕

0411	地域支えあい活動の登録団体数
0412	地域支えあい活動の登録人数
0422	認知症サポーター養成講座の受講者数
0721	障害者相談支援センターに寄せられた相談件数

〔基準値と比較して悪化した主な指標〕

0522	高齢者あんしん見守り登録制度の登録者数
0821	子育てに関して気軽に相談できる機会があると思う人の割合
0832	虐待発生件数
0911	児童館利用者数(児童を除く。)

《第1章「健康・福祉・子育て」指標の状況》

【まちづくり指標】「健康寿命（男性）」をはじめ3指標が10年後めざそう値（R5(2023)）を達成したほか、「健康づくりの取り組みをしている人の割合」など、基準値と比較して12指標、分野全体で92.3%が改善した。

一方、基準値以下となった指標は「児童館総来館者数」1指標（7.7%）となった。

【成果指標】「地域支えあい活動の登録団体数」はじめ25指標、分野全体で71.4%が基準値より改善した。また、基準値以下となった指標は「高齢者あんしん見守り登録制度の登録者数」はじめ9指標（25.7%）となった。

めざすまちの姿

だれもが自ら健康的な生活を心がけている

施策の基本方針（総合計画から抜粋）

市民一人ひとりが、いきいきと自立した生活を送るためには、生活習慣病などの疾病を予防し、健康の維持・増進を図っていくことが重要であり、「東海市いきいき元気で健康長寿のまちづくり条例」に基づき、健康づくりに関する施策を総合的かつ計画的に推進するとともに、健康づくりに必要な環境の整備や個人の健康状態に合った生活習慣の見直しの支援を行い、健康寿命の延伸を図ります。

施策実現のための財源投入状況

（単位：千円）

単位施策名称		R05年度予算	R05年度決算
01	健康への意識づけと取り組みを支援する	52,634	46,821
02	疾病の早期発見に努め重症化を予防する	279,925	264,735
施策合計		332,559	311,556

まちづくり指標の分析

No	—	0001 健康寿命（男性） 0002 健康寿命（女性）	No	0003	健康づくりの取り組みをしている人の割合
方向性	➡		方向性	➡	
〔歳〕 対基準値：男性1.52歳増、女性1.61歳増／基準値からの推移：男性○、女性○ 10年後めざそう値達成率：男性104.8%、女性130.9% 要因：継続的に実施している健康づくりに関する意識の向上や、取り組みを支援する環境整備を進めてきたことが考えられる。			〔％〕 対基準値：10.1ポイント増／基準値からの推移：○ 10年後めざそう値達成率：91.0%、男女別：差異無 年齢別：差異有、職業別：差異有、地区別：差異無 要因：年齢に伴い、自身の健康状態について関心が高まっていると推測され、比較的時間の融通が利く人において、健康活動に使う時間が多いことが推測される。		

めざすまちの姿に向けた達成度及び施策の評価

「健康寿命（男性）」及び「健康寿命（女性）」はめざそう値を達成し、「健康づくりの取り組みをしている人の割合」は達成率が91.0%であり、単位施策の成果指標も全て基準値より改善しているため、施策は順調に進展した。

新型コロナウイルス感染症の影響も一部で見られたが、健康づくりに関する意識の向上や、健康づくりの取り組みを支援する環境整備の推進により、「健康づくりの取り組みをしている人の割合」は概ね順調に推移し、それに伴い「健康寿命」についても順調な推移となったものと考えられる。

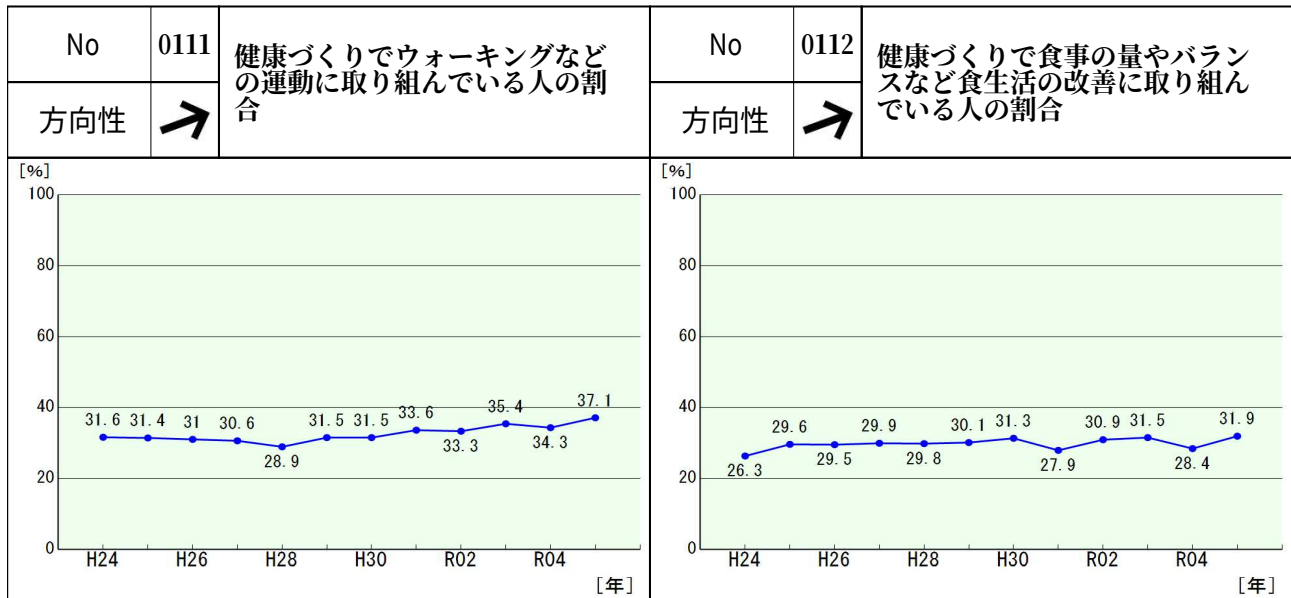
7次計画においても、健康寿命の延伸を目指し、ライフステージに合った健康づくりに関する取り組みを推進し、だれもが健康づくりを意識した行動ができることを目指していく。

施策 01 個人の自主的な健康づくりを支援する

単位施策 01 健康への意識づけと取り組みを支援する

単位施策主管課【健康推進課】

成果指標の推移



No			No		
方向性			方向性		

単位施策の評価

成果指標は2指標とも基準値から向上し、単位施策は順調に進展した。

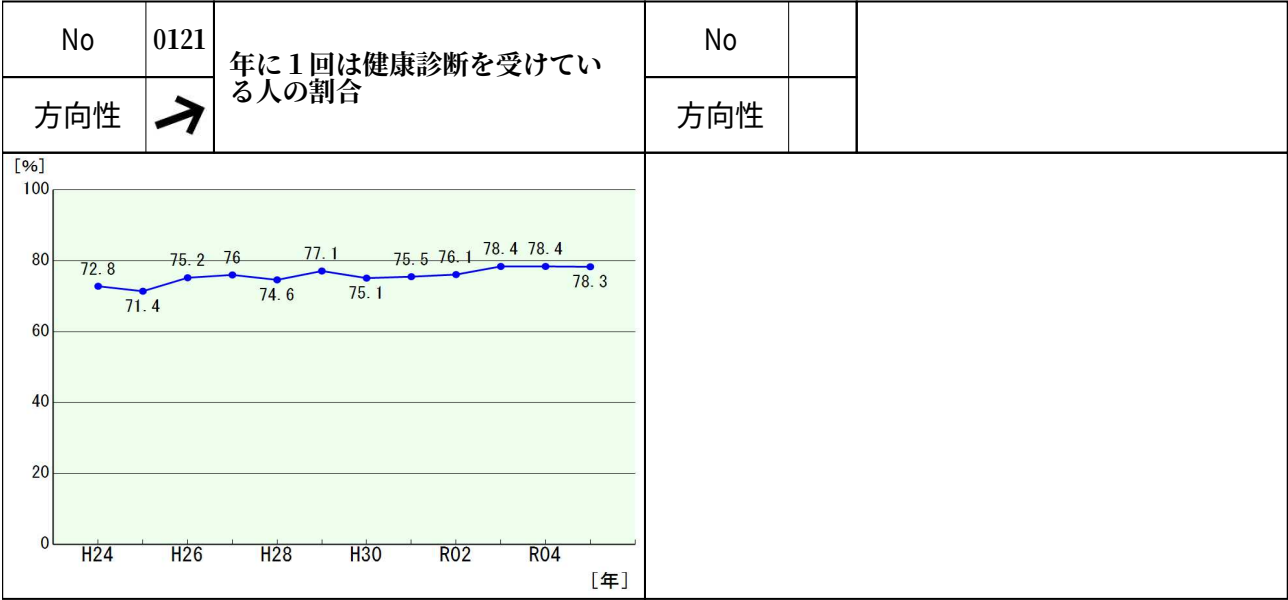
「健康づくりでウォーキングなどの運動に取り組んでいる人の割合」については、環境整備を進めるとともに、事業所等と連携し働く世代への取り組みを推進した結果、40歳代以下の年代における数値の改善につながったと考える。また、「健康づくりで食事の量やバランスなど食生活の改善に取り組んでいる人の割合」については、近年の健康志向の高まりにより16～19歳の学生層や40歳以上の年代で向上傾向で推移したことが一因と考える。

7次計画においても、誰もが自分にあった健康行動を適切に取れるような取り組みを促進するとともに、食育や食に関する啓発を通じ、市民の望ましい食習慣の確立を図っていく。

施策 01 個人の自主的な健康づくりを支援する
単位施策 02 疾病の早期発見に努め重症化を予防する

単位施策主管課【健康推進課】

成果指標の推移



No			No		
方向性			方向性		

単位施策の評価

成果指標は基準値から5.5ポイント増加しており施策は概ね順調に進展した。
 年齢別の50～64歳が80.0%以上、職業別の会社員・公務員が90.0%以上の割合を示しており、会社等による健康診断の取り組み等の推進により、指標が改善したものとする。受診率の低い39歳以下の年齢層及び専業主婦などに対し積極的な働きかけを行うことを目的に、令和2年度からフレッシュ健康診査及びフレッシュ歯周病検診を実施したことなどにより数値が改善したものとする。
 7次計画では、40歳未満の若い方や、職場等で受診機会のない方にも定期的な受診を促せるよう、受診勧奨の工夫や受診しやすい環境整備に取り組んでいく。

章	01 健康・福祉・子育て	理念	快適
節	01 健康		
施策	02 健康づくりを支援する社会環境をつくる		
施策主管課【健康推進課】			

めざすまちの姿

健康づくりに取り組みやすい環境が整っている

施策の基本方針（総合計画から抜粋）

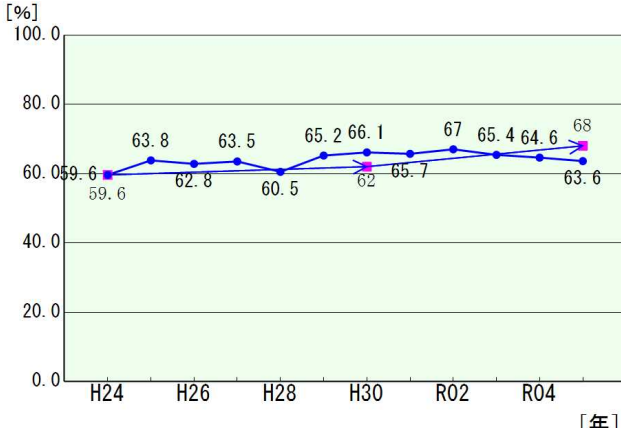
健康づくりの取り組みは、生活の場である地域などの環境が大きく影響するため、いきいき元氣推進事業をはじめ健康づくりに取り組みやすい環境を整備するとともに、関係団体、事業所などが自主的に健康づくりを行うことができるよう支援します。

施策実現のための財源投入状況

（単位：千円）

単位施策名称		R05年度予算	R05年度決算
01	健康づくりに取り組む団体などを育成する	435	408
02	健康づくりに取り組みやすい生活環境を整備する	319,365	316,526
施策合計		319,800	316,934

まちづくり指標の分析

No	0004	市内の施設や環境が健康づくりに取り組みやすいと感じている人の割合	No		
方向性	➔		方向性		
 対基準値:4.0ポイント増／基準値からの推移:○ 10年後めざそう値達成率:47.6%、男女別:差異無 年齢別:差異無、職業別:差異有、地区別:差異有 要因:会社員や自営業は順調に推移しており、勤労者の健康意識の高まりが感じられる。					

めざすまちの姿に向けた達成度及び施策の評価

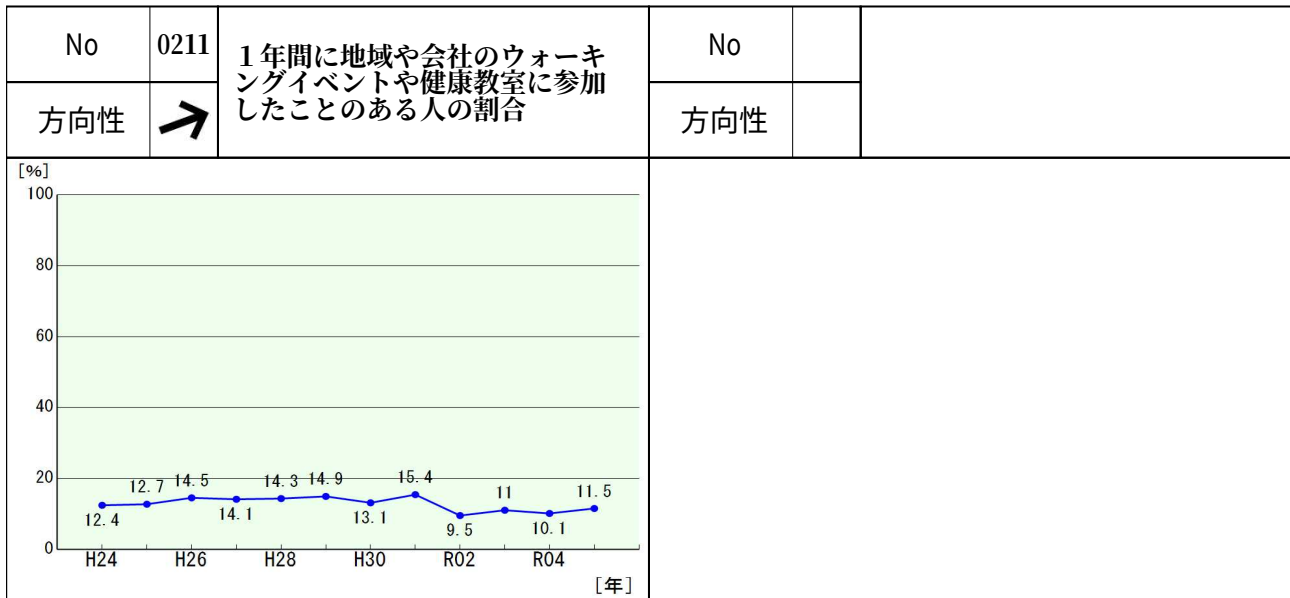
「市内の施設や環境が健康づくりに取り組みやすいと感じている人の割合」はめざそう値達成率が47.6%であり、施策は横ばいで推移した。
第2次東海市健康増進計画の前期計画期間において、健康応援ステーション制度を構築し、企業と健康づくりに関する連携を図ってきたことにより、順調に推移してきたが、その後は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、横ばいからやや低下での推移となった。
第3次健康増進計画においても、健康づくりを支援する環境づくりを継続し、既存の飲食店舗や各種運動施設、企業と連携した取り組みを進めていく。

施策 02 健康づくりを支援する社会環境をつくる

単位施策 01 健康づくりに取り組む団体などを育成する

単位施策主管課【健康推進課】

成果指標の推移



No			No		
方向性			方向性		

単位施策の評価

「1年間に地域や会社のウォーキングイベントや健康教室に参加したことがある人の割合」は基準値から、やや低下しているが前年度からは改善しているため、単位施策の成果動向は、横ばいで推移した。

年齢別では20～64歳まで、職業別では会社員や自営業、主婦で改善しているため、生産年齢層での健康意識の向上や、職場などで健康イベントが見直され実施されていると考える。

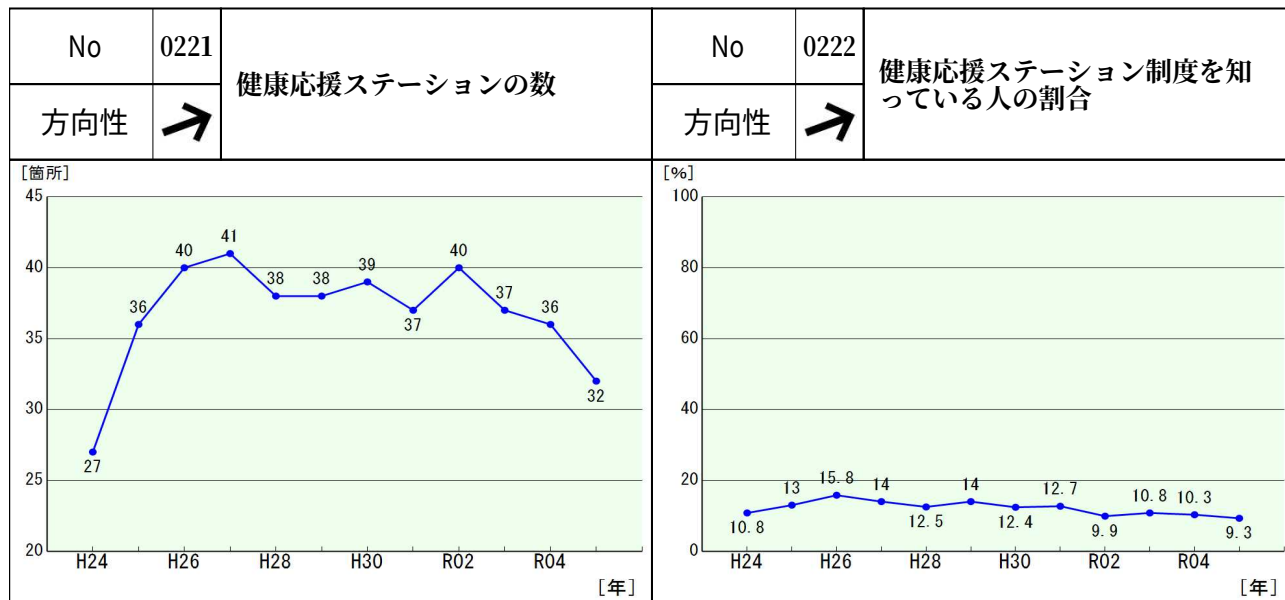
生産年齢層で改善がみられることから、7次計画でも引き続き企業への健康経営の取り組みを支援し、企業で働く壮年期層に対する健康意識の向上を図る。

施策 02 健康づくりを支援する社会環境をつくる

単位施策 02 健康づくりに取り組みやすい生活環境を整備する

単位施策主管課【健康推進課】

成果指標の推移



No			No		
方向性			方向性		

単位施策の評価

「健康応援ステーションの数」は基準値より向上しているが、「健康応援ステーション制度を知っている人の割合」は基準値より低下しているため、単位施策は、横ばいで推移した。
 新型コロナウイルス感染症の影響以降、店舗都合等による閉店等により「健康応援ステーションの数」は減少傾向にあり、「制度を知っている人の割合」も同様の推移となっている。
 効果的な周知を実施するため7次計画では、商工会議所とも協力し新規加入店舗の開拓を進めるとともに、健康応援ステーションの協力飲食店は「トマトde健康フェスティバル」の参加店舗も多く、参加者の多いイベントのため、開催時に、合わせて健康応援ステーションの認知度向上を図っていく。

章 01 健康・福祉・子育て
節 02 地域医療

理念 安心

施策 03 地域医療を守り、医療が身近なところで、安心して受けられる環境をつくる
施策主管課【健康推進課】

めざすまちの姿

医療サービスを安心して利用できる

施策の基本方針（総合計画から抜粋）

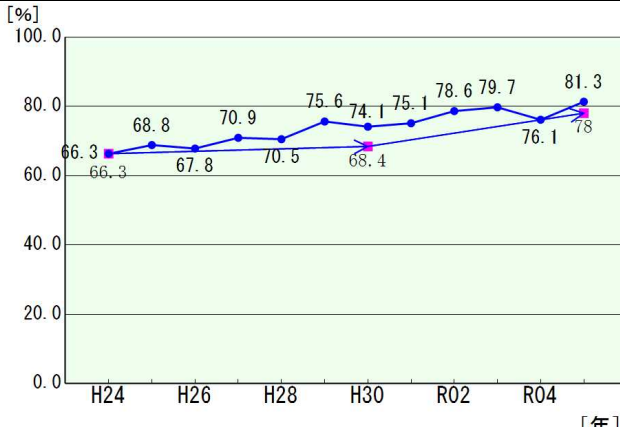
地域医療を守り、市民の安心と健康を確保する取り組みは、安心して暮らすことができるまちづくりに貢献するものであることから、公立西知多総合病院、地域の病院、診療所及び関係機関などと連携を図って、住み慣れた地域で安心して医療を受けることができるよう努めます。

施策実現のための財源投入状況

（単位：千円）

単位施策名称		R05年度予算	R05年度決算
01	身近な医療機関で安心して受診できる環境をつくる	3,281,971	2,775,274
02	地域医療の体制を整備する	1,446,643	1,446,642
施策合計		4,728,614	4,221,916

まちづくり指標の分析

No	0005	安心して医療を受けられる環境が整っていると感じている人の割合	No																												
方向性	➔		方向性																												
[%] <table><caption>安心して医療を受けられる環境が整っていると感じている人の割合（％）</caption><tr><th>年</th><th>割合（％）</th></tr><tr><td>H24</td><td>66.3</td></tr><tr><td>H25</td><td>68.8</td></tr><tr><td>H26</td><td>67.8</td></tr><tr><td>H27</td><td>70.9</td></tr><tr><td>H28</td><td>70.5</td></tr><tr><td>H29</td><td>75.6</td></tr><tr><td>H30</td><td>74.1</td></tr><tr><td>R01</td><td>75.1</td></tr><tr><td>R02</td><td>78.6</td></tr><tr><td>R03</td><td>79.7</td></tr><tr><td>R04</td><td>76.1</td></tr><tr><td>R05</td><td>81.3</td></tr></table> [年]			年	割合（％）	H24	66.3	H25	68.8	H26	67.8	H27	70.9	H28	70.5	H29	75.6	H30	74.1	R01	75.1	R02	78.6	R03	79.7	R04	76.1	R05	81.3			
年	割合（％）																														
H24	66.3																														
H25	68.8																														
H26	67.8																														
H27	70.9																														
H28	70.5																														
H29	75.6																														
H30	74.1																														
R01	75.1																														
R02	78.6																														
R03	79.7																														
R04	76.1																														
R05	81.3																														
対基準値:15.0ポイント増／基準値からの推移:○ 10年後めざそう値達成率:128.2% 年齢別:差異有、職業別:差異有、地区別:差異有 要因:地区別では、診療所など地域の医療資源が指標数値に影響していると想定。																															

めざすまちの姿に向けた達成度及び施策の評価

「安心して医療を受けられる環境が整っていると感じている人の割合」はめざそう値を達成していることから、施策は順調に進展した。

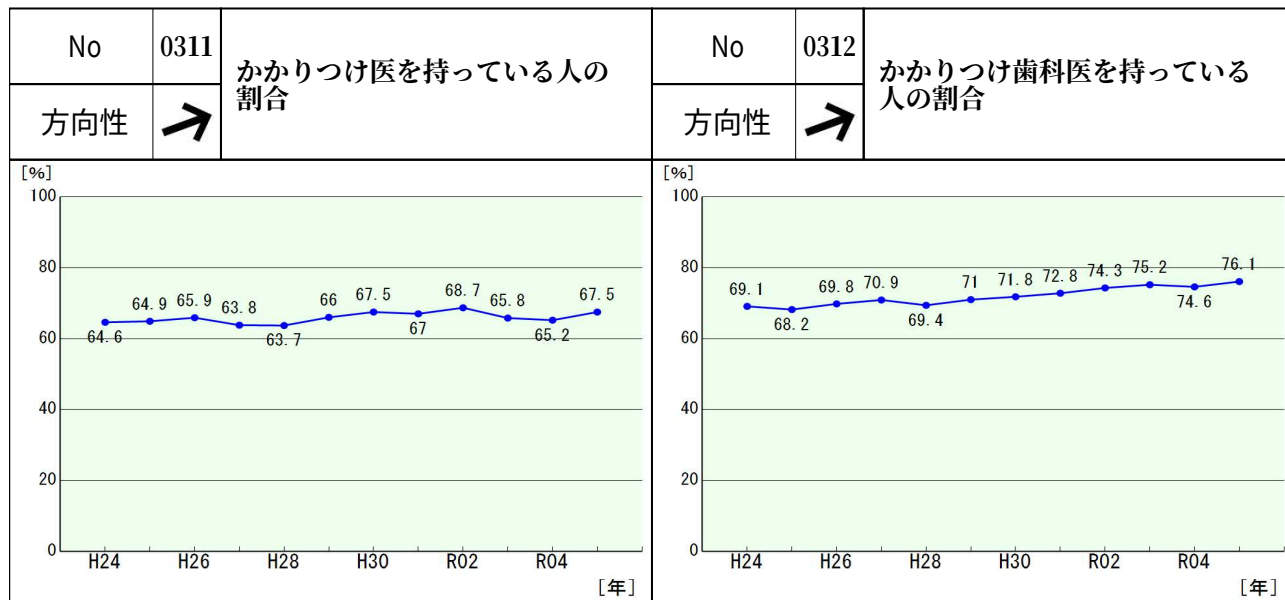
急性期医療を担う公立西知多総合病院と回復期、慢性期を担う医療機関や診療所との連携が進んでいることや、「かかりつけ医・歯科医」を持つ重要性を継続的に啓発してきたことによるものと考える。

7次計画においても、市民が住み慣れた地域で安心して医療を受けることができるよう、公立西知多総合病院を核とした地域医療体制を支援するとともに、市民に対し「かかりつけ医」、「かかりつけ歯科医」を持つ必要性を様々な保健事業を活用し、啓発していく。

施策 03 地域医療を守り、医療が身近なところで、安心して受けられる環境をつくる
単位施策 01 身近な医療機関で安心して受診できる環境をつくる

単位施策主管課【健康推進課】

成果指標の推移



No			No		
方向性			方向性		

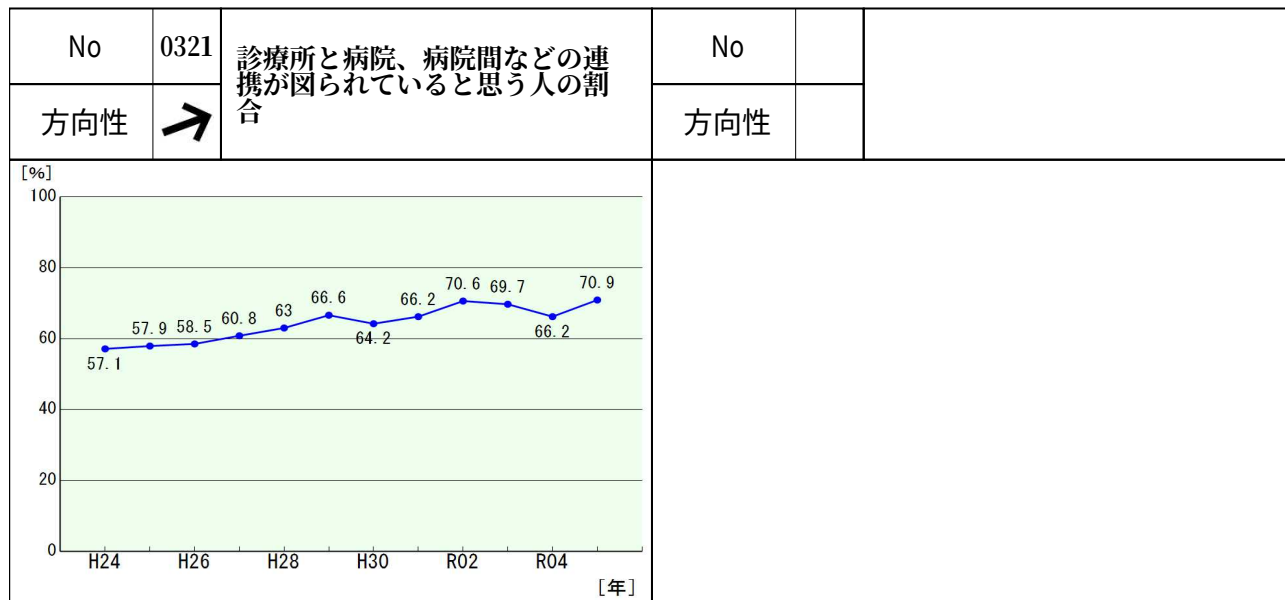
単位施策の評価

成果指標は2指標とも基準値から向上しており、単位施策は概ね順調に進展した。
 継続的な啓発と、市民個々人の健康意識の向上が要因と考える。年齢別では、かかりつけ医、かかりつけ歯科医ともに65歳以上は割合が高いものの、20歳代及び30歳代は低く推移していたため、健診の機会や成人式での啓発を行っていることが、意識の向上につながったものと考ええる。また、公立西知多総合病院の開院に伴い、急性期と慢性期の医療連携が進んでいることが、かかりつけ医を持つことにもつながっていると考ええる。
 7次計画では、若い世代及び働く世代を始め幅広い世代に向け、ホームページや各種保健事業での啓発及び企業と連携した啓発を継続していく。

施策 03 地域医療を守り、医療が身近なところで、安心して受けられる環境をつくる
単位施策 02 地域医療の体制を整備する

単位施策主管課【健康推進課】

成果指標の推移



No			No		
方向性			方向性		

単位施策の評価

成果指標は基準値から向上しており、単位施策は概ね順調に進展した。
 様々な会議や勉強会等を通じて、地域医療を担う診療所と公立西知多総合病院との顔の見える関係を築き、連携が図られるようになったためと考える。
 急性期医療を担う公立西知多総合病院と、回復期、慢性期を担う医療機関や診療所との連携が図られ、地域で市民が安心して医療を受けることができるよう、7次計画でも引き続き支援を行っていく。

章	01 健康・福祉・子育て	理念	ふれあい
節	03 高齢者支援		
施策	04 地域で支えあう環境をつくる		
施策主管課【高齢者支援課】			

めざすまちの姿

高齢者が地域のなかで頼る人があり、人とつながり、見守られている

施策の基本方針（総合計画から抜粋）

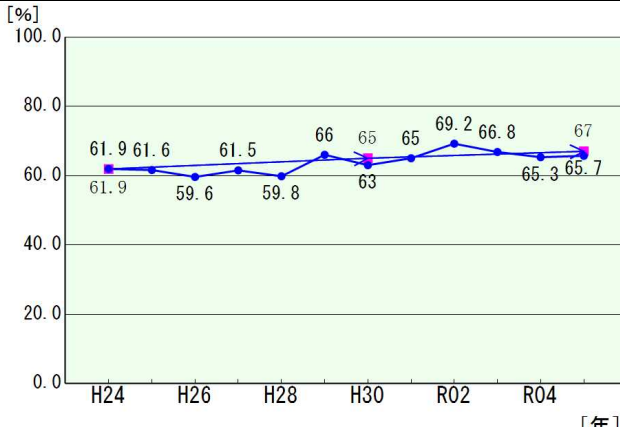
高齢者を地域で支えあう活動を進めることで、生きがいや活躍の場をつくるとともに、高齢者が健康で安心して暮らすことができる環境を整備します。

施策実現のための財源投入状況

（単位：千円）

単位施策名称		R05年度予算	R05年度決算
01	高齢者が活躍できる場をつくる	85,176	79,402
02	高齢者の介護者を支援する	27,033	25,237
施策合計		112,209	104,639

まちづくり指標の分析

No	0006	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせると思う人の割合	No																
方向性	➔		方向性																
[%] <table><thead><tr><th>年</th><th>割合 [%]</th></tr></thead><tbody><tr><td>H24</td><td>61.9</td></tr><tr><td>H26</td><td>59.6</td></tr><tr><td>H28</td><td>59.8</td></tr><tr><td>H30</td><td>63</td></tr><tr><td>R02</td><td>65</td></tr><tr><td>R04</td><td>65.7</td></tr></tbody></table> [年] 対基準値:3.8ポイント増／基準値からの推移:○ 10年後めざそう値達成率:74.5% 年齢別:差異有、職業別:差異有、地区別:差異有 要因:地域支えあい活動や認知症相談事業の拡がりにより、概ね順調に推移したと考える。			年	割合 [%]	H24	61.9	H26	59.6	H28	59.8	H30	63	R02	65	R04	65.7			
年	割合 [%]																		
H24	61.9																		
H26	59.6																		
H28	59.8																		
H30	63																		
R02	65																		
R04	65.7																		

めざすまちの姿に向けた達成度及び施策の評価

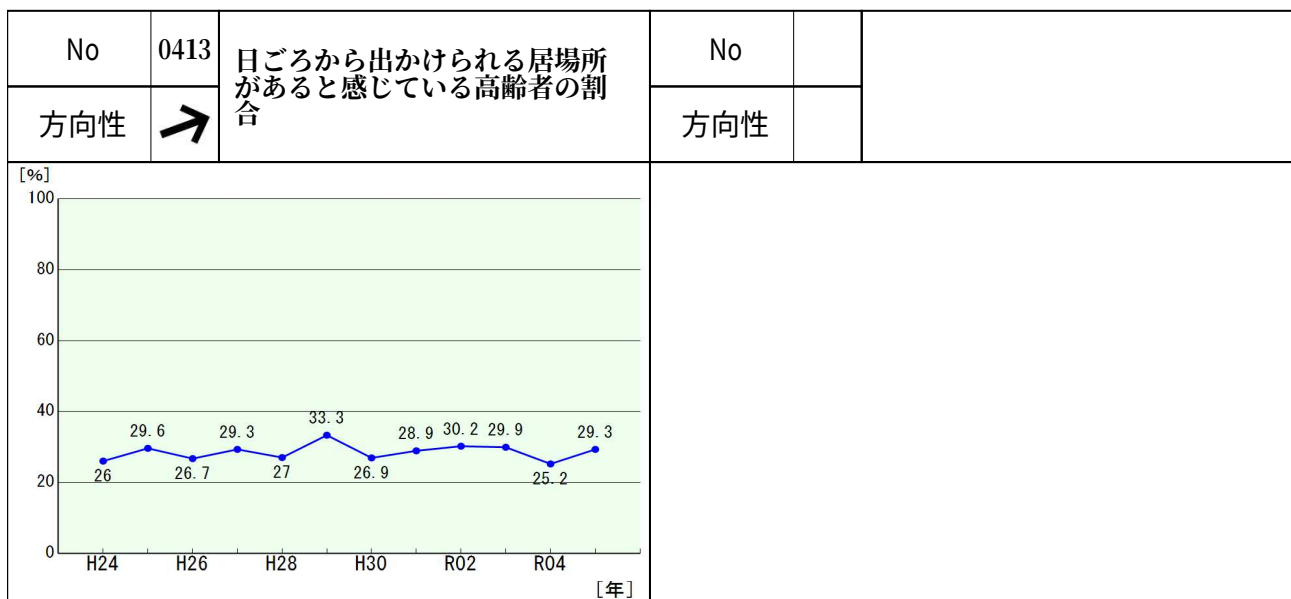
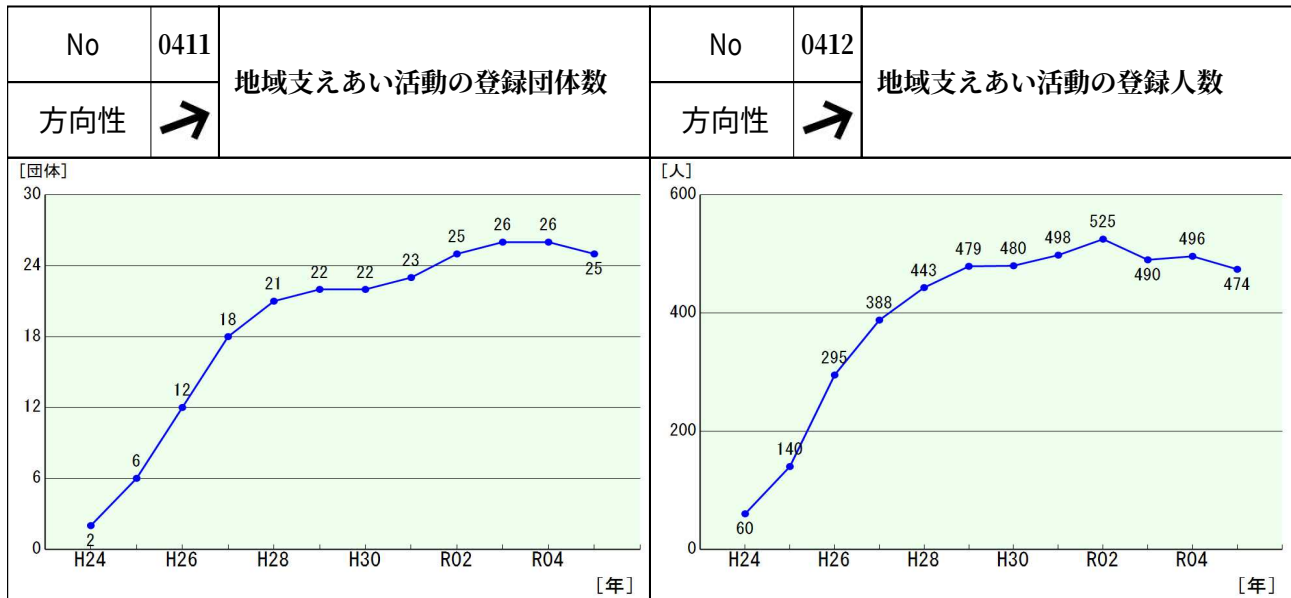
「高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせると思う人の割合」は達成率74.5%だったことから、施策は概ね順調に進展した。
認知症地域支援推進事業等において相談しやすい環境整備や地域支えあい活動をとおして日常的に支えあう活動の場などに対し、継続的な支援を行ってきたことで、数値の改善につながっているものと考え。
高齢化率がさらに高まることが想定されるため、7次計画では、高齢者の活躍の場を増やし、社会参加の促進を引き続き図っていく。

施策 04 地域で支えあう環境をつくる

単位施策 01 高齢者が活躍できる場をつくる

単位施策主管課【高齢者支援課】

成果指標の推移



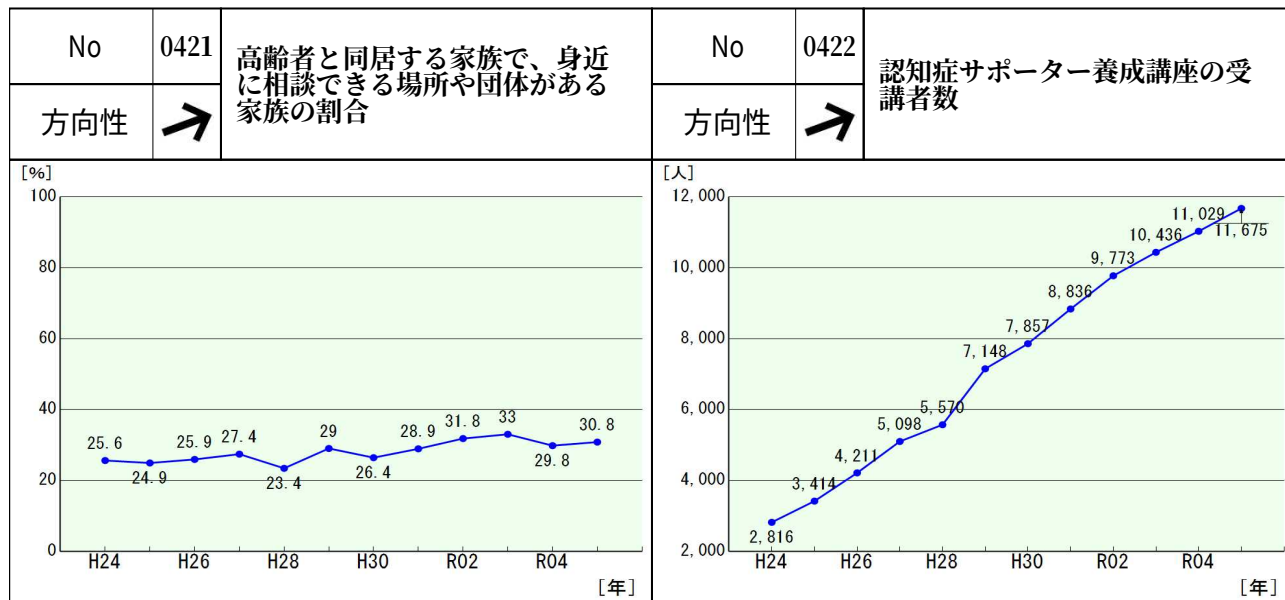
単位施策の評価

成果指標3指標全てが基準値から向上しており、単位施策は順調に進展した。
「地域支えあい活動の登録団体数」については、立ち上げ支援を行ってきたことで、順調に増加した。また、「地域支えあい活動の登録人数」も団体数の増加にあわせて、順調に増加した。「日ごろから出かけられる居場所があると感じている高齢者の割合」については、サロン活動やゴムバンド教室、百歳体操などの活動場所が増加したことで、積極的な活動へとつながり、それらが高齢者の居場所として実感されていると考える。
地域支えあい活動団体は、地域によって偏りがあり、支えあい活動が行われていない地域もあることから、7次計画でも引き続き、団体の新規立ち上げに向けて働きかけを行っていく。

施策 04 地域で支えあう環境をつくる
単位施策 02 高齢者の介護者を支援する

単位施策主管課【高齢者支援課】

成果指標の推移



No			No		
方向性			方向性		

単位施策の評価

成果指標2指標ともに基準値から向上しており、単位施策は順調に進展した。
「高齢者と同居する家族で、身近に相談できる場所や団体がある家族の割合」については、認知症相談事業や認知症フォーラムの開催など、介護者を支援する各種事業を実施してきたことで、高齢者と同居する家族で、身近な相談先があると感じていると考える。また、「認知症サポーター養成講座の受講者数」も受講できる環境等を充実させてきたことや養成講座の情報提供を広く周知してきたことなどにより、順調に増加した。
7次計画でも引き続き、介護者の支援に係る各種事業を実施するとともに、身近な相談窓口の設置や介護者のニーズにあった効果的な支援策を実施していく。

章 01 健康・福祉・子育て
節 03 高齢者支援

理念 安心

施策 05 高齢者の保健・介護・福祉サービスを充実させる

施策主管課【高齢者支援課】

めざすまちの姿

介護などの高齢者福祉が充実している

施策の基本方針（総合計画から抜粋）

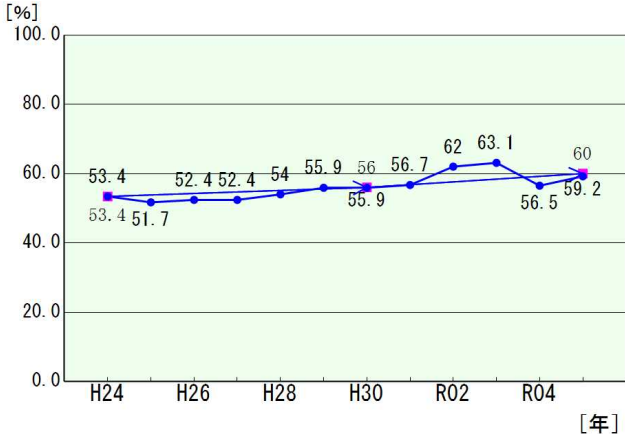
健康で安心した生活ができるよう、高齢者の健康状態に応じた相談や支援を受けることができるなど、保健・福祉のサービスの充実を図ります。

施策実現のための財源投入状況

（単位：千円）

単位施策名称		R05年度予算	R05年度決算
01	介護が必要な高齢者を支援する	1,690,556	1,650,328
02	ひとり暮らしなどの高齢者を支援する	44,654	41,478
03	高齢者の健康づくりなどの取り組みを支援する	35,537	29,950
施策合計		1,770,747	1,721,756

まちづくり指標の分析

No	0007	高齢者のサービスなどが充実していると感じている人の割合	No																							
方向性	➔		方向性																							
[%] <table><caption>高齢者のサービスなどが充実していると感じている人の割合の推移</caption><tr><th>年</th><th>割合 (%)</th></tr><tr><td>H24</td><td>53.4</td></tr><tr><td>H25</td><td>51.7</td></tr><tr><td>H26</td><td>52.4</td></tr><tr><td>H27</td><td>52.4</td></tr><tr><td>H28</td><td>54</td></tr><tr><td>H29</td><td>55.9</td></tr><tr><td>H30</td><td>56</td></tr><tr><td>R01</td><td>56.7</td></tr><tr><td>R02</td><td>62</td></tr><tr><td>R03</td><td>63.1</td></tr><tr><td>R04</td><td>60</td></tr></table> [年] 対基準値:5.8ポイント増／基準値からの推移:○ 10年後めざそう値達成率:87.9% 年齢別:差異有、職業別:差異有、地区別:差異有 要因:福祉サービスや介護サービスの充実を図ってきたことが要因と考える。			年	割合 (%)	H24	53.4	H25	51.7	H26	52.4	H27	52.4	H28	54	H29	55.9	H30	56	R01	56.7	R02	62	R03	63.1	R04	60
年	割合 (%)																									
H24	53.4																									
H25	51.7																									
H26	52.4																									
H27	52.4																									
H28	54																									
H29	55.9																									
H30	56																									
R01	56.7																									
R02	62																									
R03	63.1																									
R04	60																									

めざすまちの姿に向けた達成度及び施策の評価

「高齢者のサービスなどが充実していると感じている人の割合」はめざそう値達成率87.9%だったことから、施策は概ね順調に進展した。

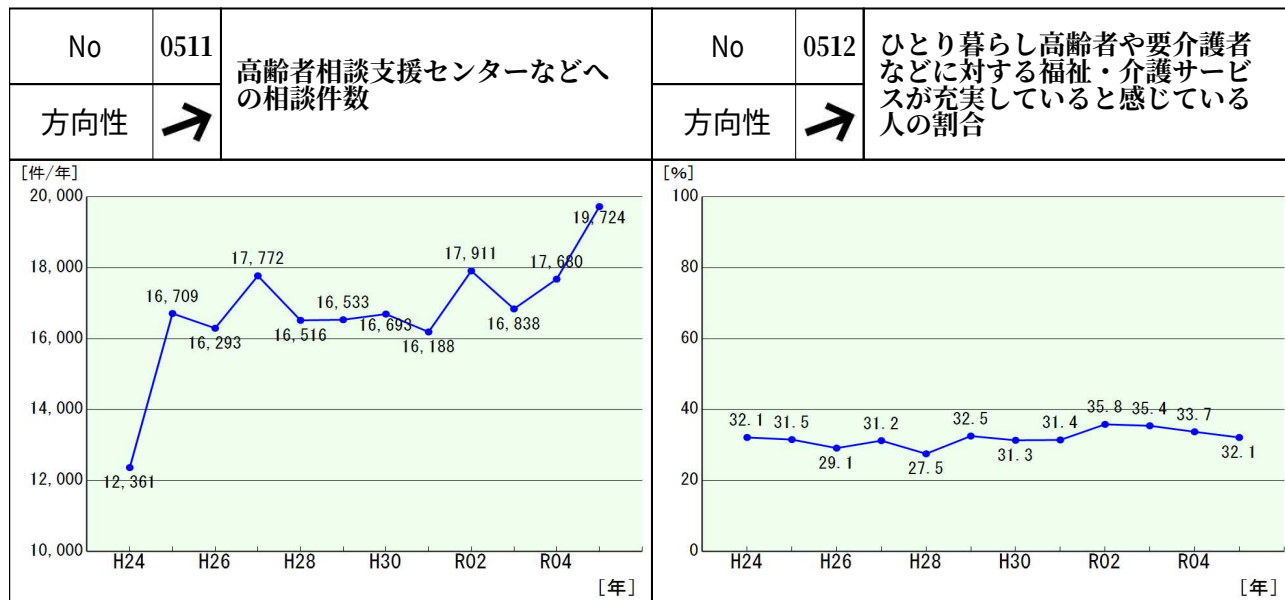
高齢者やその家族からのニーズが多様化するなかで、要介護者に対する支援をはじめ地域包括支援事業の充実を継続的に図ってきたことで、高齢者のサービスなどが充実していると感じており、数値の改善につながっているものと考え。

高齢化率がさらに高まり、福祉サービスや介護サービスへのニーズが多様化することが想定されるため、7次計画では、サービスのさらなる充実を図っていく。

施策 05 高齢者の保健・介護・福祉サービスを充実させる
単位施策 01 介護が必要な高齢者を支援する

単位施策主管課【高齢者支援課】

成果指標の推移



No			No		
方向性			方向性		

単位施策の評価

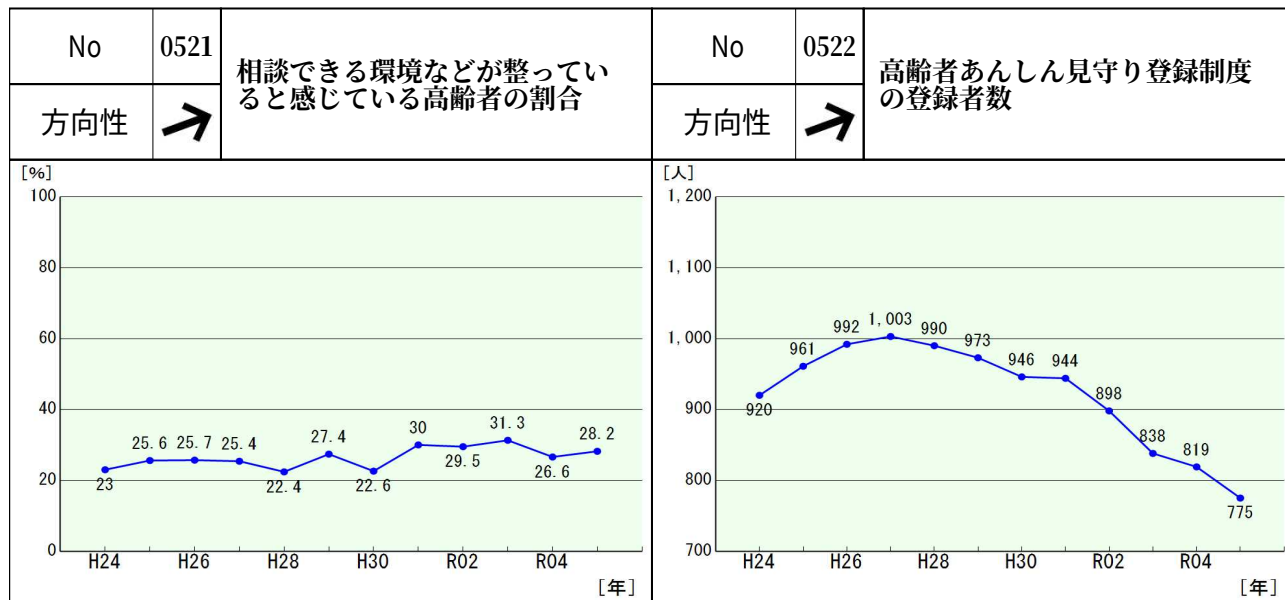
成果指標2指標のうち1指標が基準値から向上しており、単位施策は概ね順調に進展した。「高齡者相談支援センターなどへの相談件数」については、相談先として広く周知してきたことなどにより順調に増加した。また、「ひとり暮らし高齢者や要介護者などサービスが充実していると感じている人の割合」については、横ばいであり、福祉・介護サービスの対象者の拡充等を図ってきたものの、サービスを必要とする方の増加に伴うニーズの多様化等が影響していると考えられる。

7次計画でも引き続き、各種高齢者支援事業を推進するとともに、ひとり暮らしや介護を必要とする高齢者のニーズをとらえ、福祉・介護サービスの充実を図っていく。

施策 05 高齢者の保健・介護・福祉サービスを充実させる
単位施策 02 ひとり暮らしなどの高齢者を支援する

単位施策主管課【高齢者支援課】

成果指標の推移



No			No		
方向性			方向性		

単位施策の評価

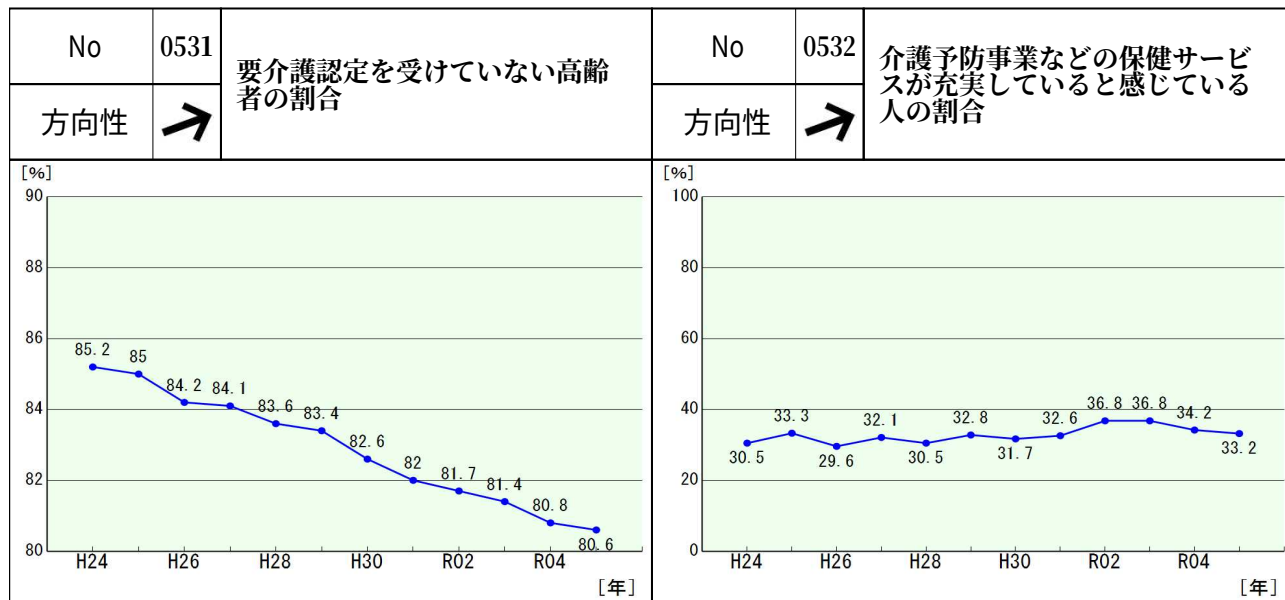
成果指標2指標のうち1指標が基準値から向上しており、単位施策は概ね順調に進展した。
 「相談できる環境などが整っていると感じている高齢者の割合」については、高齢者ネットワークセンターや高齢者相談支援センターなど、相談窓口の充実が図られたことが影響していると考えられる。また、「高齢者あんしん見守り登録制度の登録者数」が減少傾向にあるのは、施設入所等による登録削除者数に比べ、新規登録者数が下回ったもので、これは、地域支えあい活動等、高齢者を見守る体制が充実してきていることが要因の一つであると考えられる。
 7次計画では、あんしん見守り相談員によるきめ細やかな対応を実施するとともに、高齢者ネットワークセンターを中心に高齢者相談支援センターや関係機関と連携を密にしてい

施策 05 高齢者の保健・介護・福祉サービスを充実させる

単位施策 03 高齢者の健康づくりなどの取り組みを支援する

単位施策主管課【健康推進課】

成果指標の推移



No			No		
方向性			方向性		

単位施策の評価

成果指標2指標のうち1つは基準値から改善しているが、全体的に基準値からの変化が少なく、単位施策は概ね横ばいに推移した。

「要介護認定を受けていない高齢者の割合」については、人口構成の変化により、後期高齢者の割合が増加し、介護を必要とする方が増加していることが影響していると考ええる。「保健サービスが充実していると感じている人の割合」については、介護予防事業などの参加者は女性が多いため女性の数値が高く、男女問わず参加しやすい教室の周知も必要と考える。

7次計画では、性別に関係なく参加しやすい事業内容等、ボランティアや自主活動に限らず新たな事業展開を行っていく。

章	01 健康・福祉・子育て	理念	いきいき
節	04 障がい者支援		
施策	06 障がい者に対する理解を深める		
施策主管課【社会福祉課】			

めざすまちの姿

障がい者が理解され、障がい者が地域でいきいきと生活している

施策の基本方針（総合計画から抜粋）

障がいのある人もない人も、互いに思いやり、助け合って、いきいきと生活できる社会の実現のために、市民一人ひとりが障がいについて関心を持てるよう、学校や地域において、障がいや障がい者に対する理解を深めるための啓発活動や福祉事業を進めます。

施策実現のための財源投入状況

（単位：千円）

単位施策名称		R05年度予算	R05年度決算
01	障がいについて理解できる機会をつくる	11,298	9,918
施策合計		11,298	9,918

まちづくり指標の分析

No	0008	地域社会で障がい者が理解されていると思う人の割合	No		
方向性	➔		方向性		
[年]					
対基準値:2.7ポイント増 基準値からの推移:○ 10年後めざそう値達成率:54.0% 年齢別:差異有、職業別:差異有、地域別:差異無 要因:10代～20代の数値が高く、福祉体験教室等の教育現場での取り組みの効果と考える。					

めざすまちの姿に向けた達成度及び施策の評価

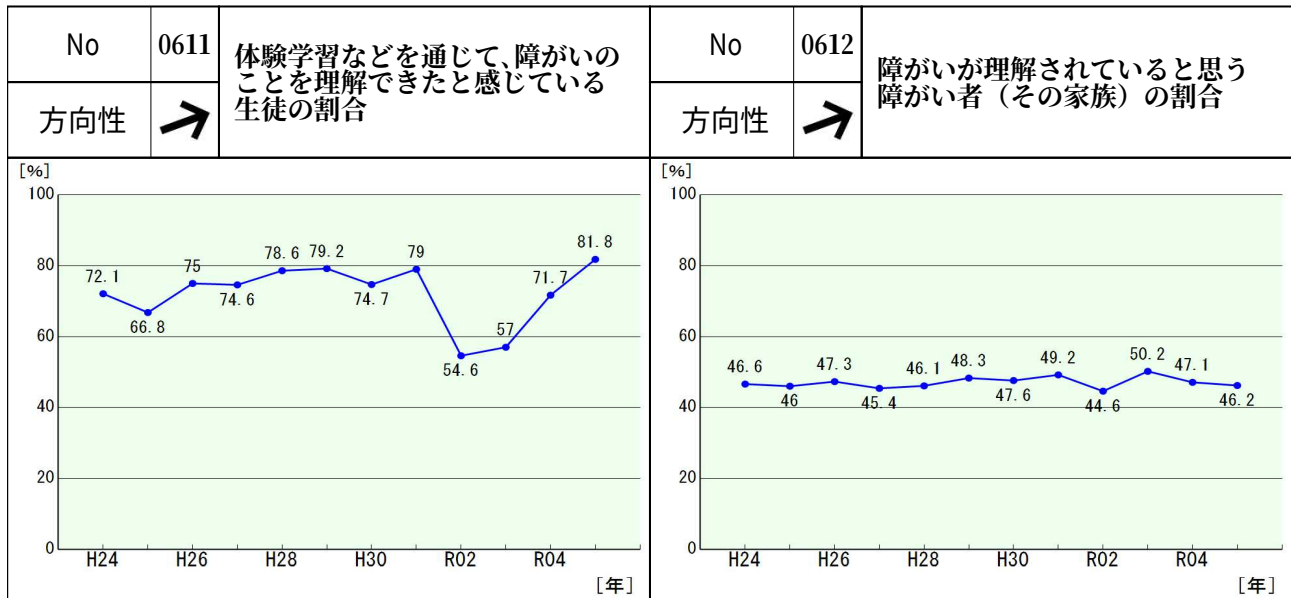
まちづくり指標はめざそう値達成率が54.0%であり、施策は概ね順調に進展した。 これまで継続的に、教育現場での体験学習に取り組んできたこと等により、若い世代において障害への理解が深まったためと考える。 7次計画では、幅広い世代において障害への理解促進を図るため、各種団体と連携し、充実した啓発活動を行っていく。
--

施策 06 障がい者に対する理解を深める

単位施策 01 障がいについて理解できる機会をつくる

単位施策主管課【社会福祉課】

成果指標の推移



No			No		
方向性			方向性		

単位施策の評価

成果指標2指標のうち1指標は基準値から向上しており、単位施策は概ね順調に進展した。
 「体験学習などを通じて、障がい者のことを理解できたと感じている生徒の割合」について、学校等での福祉体験教室の継続的な実施により、成果につながったと考える。「障がい者が理解されていると思う障がい者（その家族）の割合」は横ばいのままであり、主に大人への理解が深まっていないことが、障がい者自身が実感するに至らない理由と考える。
 7次計画では、障がいについて幅広い世代が理解を深められる機会づくりに取り組んでいく。

章 01 健康・福祉・子育て

節 04 障がい者支援

施策 07 障がい者の福祉サービスを充実させる

理念 安心

施策主管課【社会福祉課】

めざすまちの姿

障がいに応じた必要なサービスを受けることができる

施策の基本方針（総合計画から抜粋）

障がい者やその家族が安心して生活できるよう、また、障がいのある人もない人も社会参加できるよう、福祉サービスの充実を図ります。
また、障がい者や家族が気軽に相談できる体制を整備するとともに、必要な情報提供を行います。

施策実現のための財源投入状況

（単位：千円）

単位施策名称		R05年度予算	R05年度決算
01	障がい者の地域での生活を支援する	4,153,415	4,066,215
02	相談支援を充実させる	279,750	278,861
施策合計		4,433,165	4,345,076

まちづくり指標の分析

No	0009	障がい者の福祉サービスが整っていると思う人の割合	No	0010	障がい者やその家族からの相談を支援する体制が整っていると思う人の割合
方向性	➔		方向性	➔	
対基準値:2.6ポイント増／基準値からの推移:○ 10年後めざそう値達成率:41.9% 年齢別:差異有、職業別:差異有、地域別:差異無 要因:福祉サービスを受けている人数が増加傾向にあるためと想定。			対基準値:4.6ポイント増／基準値からの推移:○ 10年後めざそう値達成率:80.7% 年齢別:差異有、職業別:差異有、地域別:差異無 要因:障害に関する相談者数の増加及び相談支援センターが浸透してきたことによるものと想定。		

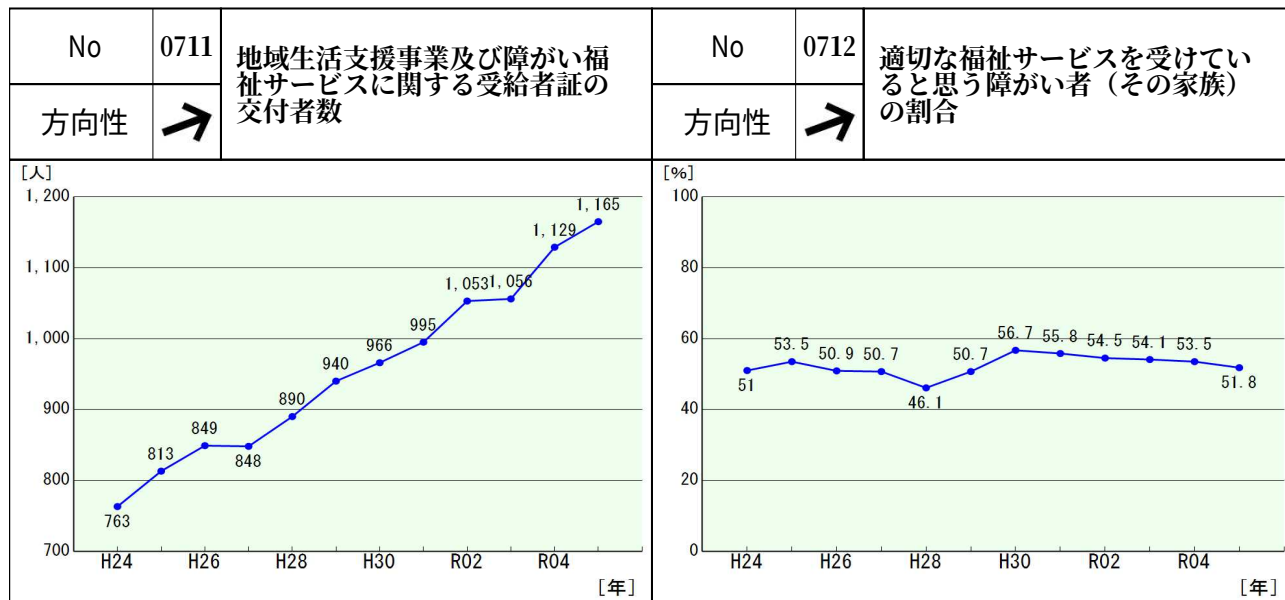
めざすまちの姿に向けた達成度及び施策の評価

「障がい者の福祉サービスが整っていると思う人の割合」はめざそう値達成率が41.9%、「障がい者やその家族からの相談を支援する体制が整っていると思う人の割合」は達成率が80.7%であり、単位施策の成果動向も順調であることから、施策は概ね順調に進展した。
障がい者の福祉サービス及び相談支援のニーズの高まりに対し、充実したサービス提供や相談支援体制の拡充に取り組んできたことによるものと考え。
障がい者の福祉サービス及び相談支援のニーズは増加していくと予測されるため、7次計画では、ニーズに応じた適切な福祉サービスを提供するとともに、件数増加に対応できるよう、関係機関との協議・調整を進めていく。

施策 07 障がい者の福祉サービスを充実させる
単位施策 01 障がい者の地域での生活を支援する

単位施策主管課【社会福祉課】

成果指標の推移



No			No		
方向性			方向性		

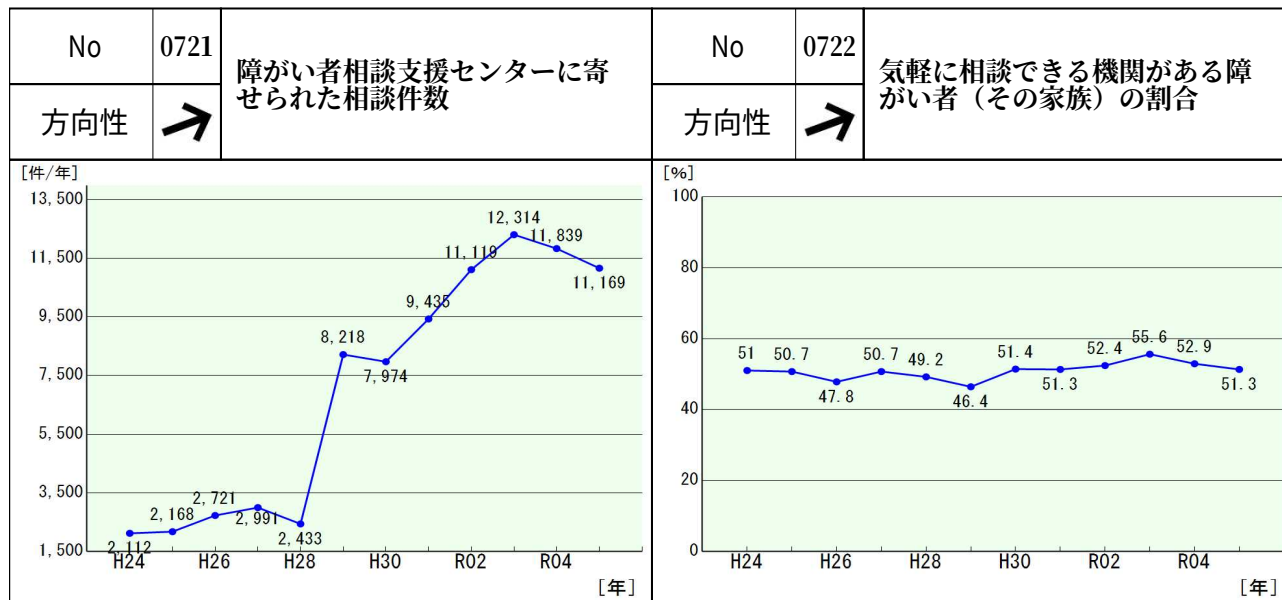
単位施策の評価

成果指標2指標とも基準値から改善し、単位施策は概ね順調に進展した。
「受給者証の交付者数」は増加し続け、福祉サービスの必要性が顕著に表れているとともに、「適切な福祉サービスを受けていると思う障がい者（その家族）の割合」についても、福祉サービスを受ける人が増加するなか、サービスを必要としている方に対し、ある程度行き届いているものと推測される。
受給者証の交付者数の増加とともに、福祉サービスへのニーズも益々高まっていくと見込まれるため、7次計画においても、関係団体と協力し、ニーズに応えられる体制を整えていく。

施策 07 障がい者の福祉サービスを充実させる
単位施策 02 相談支援を充実させる

単位施策主管課【社会福祉課】

成果指標の推移



No			No		
方向性			方向性		

単位施策の評価

成果指標の2指標とも基準値から改善し、単位施策は概ね順調に進展した。
「相談支援センターに寄せられた相談件数」は、平成29年度から相談支援事業を市単独の体制にするとともに、事業所を1か所から2か所に増やし、周知を図ったことから件数が大幅に増加した。また「気軽に相談できる障がい者の割合」も、相談内容として多くを占める福祉サービスの利用に関する相談について、利用者のニーズにある程度応えられていると考える。
7次計画においても、相談件数の増加に対応できるよう、関係機関との協議・調整を進めていく。

章 01 健康・福祉・子育て
節 05 子育て支援

理念 快適

施策 08 結婚活動を応援し、子育て支援サービスを充実させる

施策主管課【幼児保育課】

めざすまちの姿

未来を担う子どもが生まれ健やかに育っている

施策の基本方針（総合計画から抜粋）

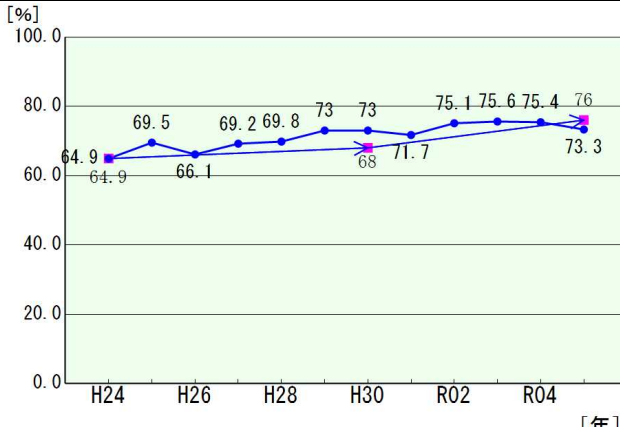
子どもが健やかに育つよう、子どもの成長発達に応じて、親子がともに育ち合えるよう相談・支援体制を整備するとともに、保育園や子育て支援センターなどの施設を充実させます。また、結婚応援センターを拠点とした、未婚者への結婚応援を進めます。

施策実現のための財源投入状況

（単位：千円）

単位施策名称		R05年度予算	R05年度決算
01	子どもが生まれ、健やかに育つ支援サービスを充実させる	6,592,391	6,513,392
02	親子の健やかな育ちを支援する	739,839	682,284
03	子どもへの虐待を防止する	7,167	6,273
施策合計		7,339,397	7,201,949

まちづくり指標の分析

No	0011	子育てがしやすいまちであると 感じている人の割合	No																												
方向性	➔		方向性																												
[%] 100.0 80.0 60.0 40.0 20.0 0.0 <table><caption>子育てがしやすいまちであると 感じている人の割合（％）</caption><tr><th>年</th><th>割合（％）</th></tr><tr><td>H24</td><td>64.9</td></tr><tr><td>H25</td><td>69.5</td></tr><tr><td>H26</td><td>66.1</td></tr><tr><td>H27</td><td>69.2</td></tr><tr><td>H28</td><td>69.8</td></tr><tr><td>H29</td><td>73.0</td></tr><tr><td>H30</td><td>68.0</td></tr><tr><td>R01</td><td>71.7</td></tr><tr><td>R02</td><td>75.1</td></tr><tr><td>R03</td><td>75.6</td></tr><tr><td>R04</td><td>75.4</td></tr><tr><td>R05</td><td>76.0</td></tr></table> [年]			年	割合（％）	H24	64.9	H25	69.5	H26	66.1	H27	69.2	H28	69.8	H29	73.0	H30	68.0	R01	71.7	R02	75.1	R03	75.6	R04	75.4	R05	76.0			
年	割合（％）																														
H24	64.9																														
H25	69.5																														
H26	66.1																														
H27	69.2																														
H28	69.8																														
H29	73.0																														
H30	68.0																														
R01	71.7																														
R02	75.1																														
R03	75.6																														
R04	75.4																														
R05	76.0																														
対基準値:8.4ポイント増／基準値からの推移:○ 10年後めざそう値達成率:75.7% 年齢別:差異無、職業別:差異無、地区別:差異無 要因:保育の受け皿の確保や多様な保育ニーズへの対 応の効果と考える。																															

めざすまちの姿に向けた達成度及び施策の評価

まちづくり指標は、めざそう値達成率が75.7%であったものの、成果指標の「気軽に相談できる機会があると思う人の割合」や「虐待発生件数」が基準値より悪化しており、施策は横ばいで推移した。

民間事業者と連携して保育の受け皿を確保するとともに、早朝保育や病児・病後児保育を実施するなど、保育サービスの充実は図られたが、子育て支援サービスのニーズが多様化しており、子育てに関する相談対応等の必要性が増加している。

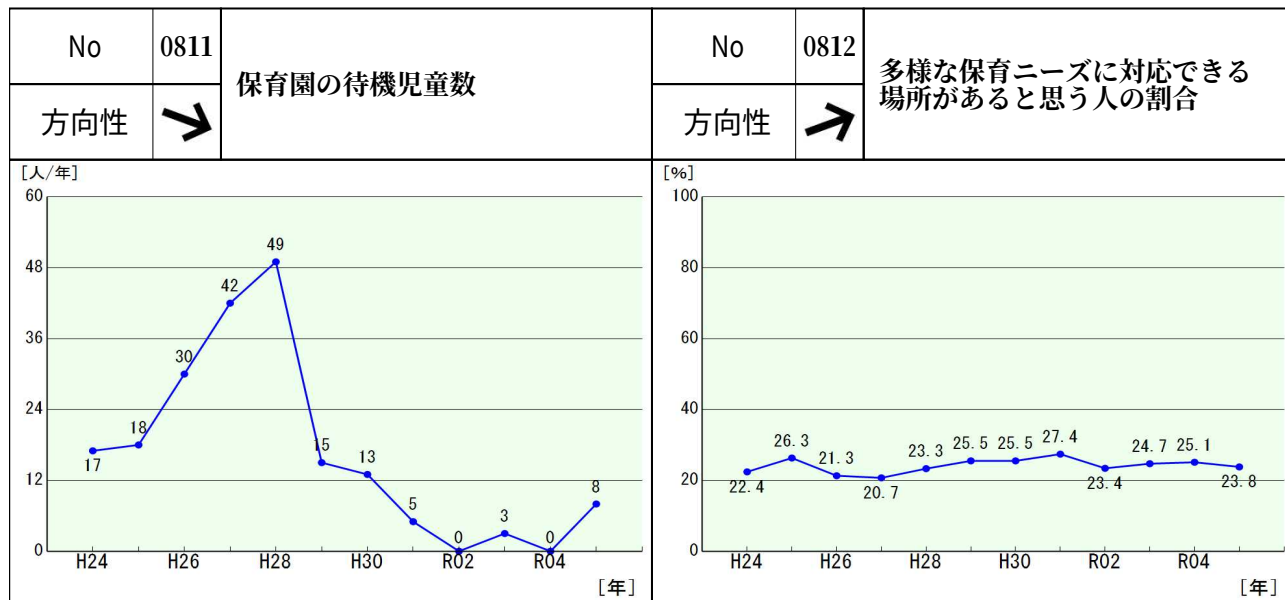
7次計画では、民間事業者と連携して保育サービスの更なる充実を図るとともに、こども家庭センターを中心に、個々の家庭に応じた支援の切れ目ない相談対応等を行っていく。

施策 08 結婚活動を応援し、子育て支援サービスを充実させる

単位施策 01 子どもが生まれ、健やかに育つ支援サービスを充実させる

単位施策主管課【幼児保育課】

成果指標の推移



No			No		
方向性			方向性		

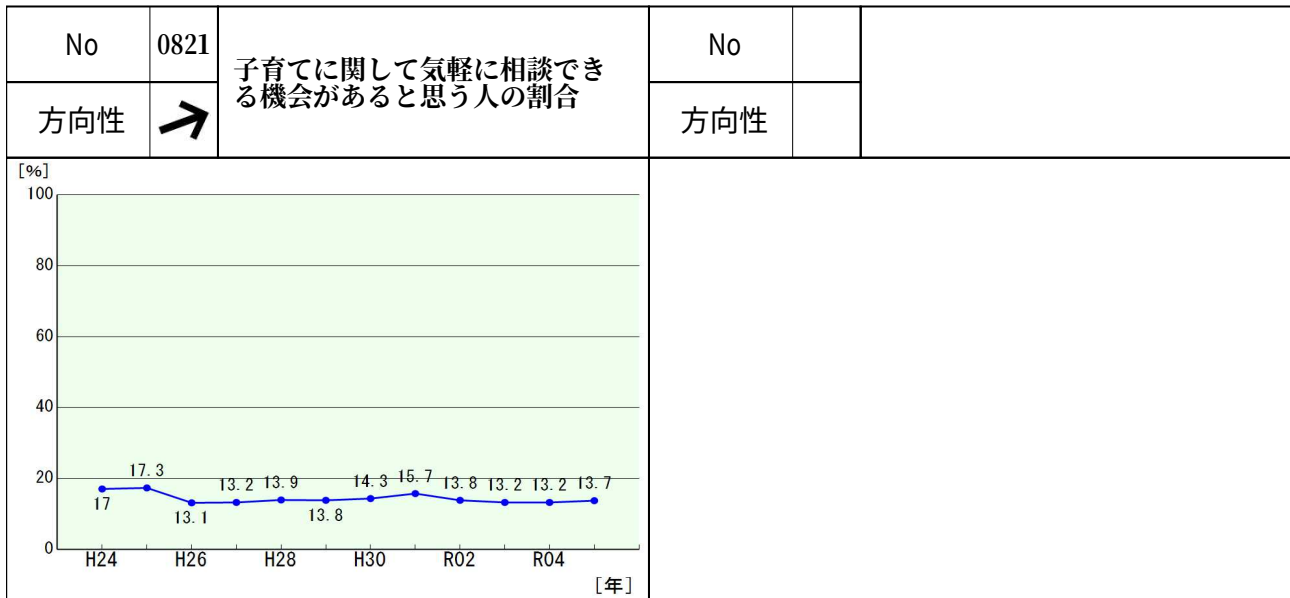
単位施策の評価

成果指標の2指標とも基準値から向上しており、単位施策は概ね順調に進展した。
「保育園の待機児童数」については、公立保育園及び私立保育所の整備を進め、保育園の定員を増員することで、保育園の待機児童数が減少した。「多様な保育ニーズに対応できる場所があると思う人の割合」については、私立保育所早朝保育等事業費補助事業、病児・病後児保育事業、幼児集団活動施設等利用料補助事業等の各種取組が効果を上げたものとする。
7次計画では、民間事業者と連携して、更なる保育サービスの充実を図っていく。

施策 08 結婚活動を応援し、子育て支援サービスを充実させる
単位施策 02 親子の健やかな育ちを支援する

単位施策主管課【健康推進課】

成果指標の推移



No			No		
方向性			方向性		

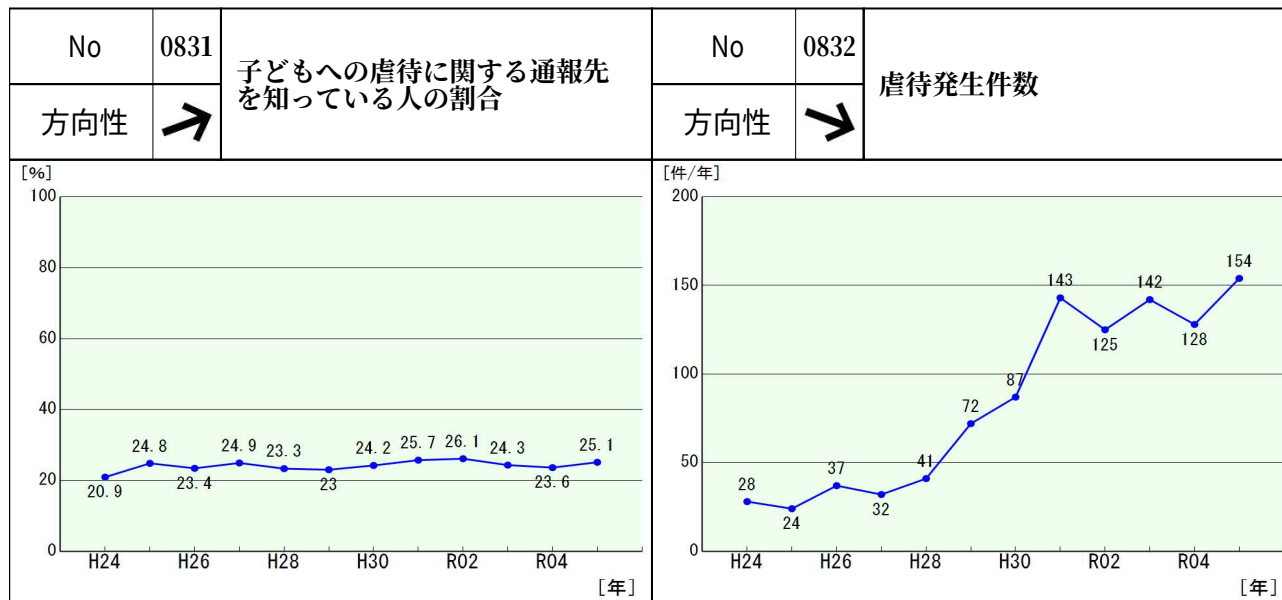
単位施策の評価

成果指標は基準値より低下しており、単位施策は順調に進展していない。
 指標は基準値より低下しているが、女性は高く、特に20代30代の女性は高かった。母親を中心とした、子育て不安や孤立防止等の支援が充実してきたためと考える。一方、昨今の男性の育児休業の普及等により、子育てに関する相談等、男性のニーズが高まったものの、男性向けの支援が女性に比べて比較的最近の取り組みであることが影響していると考えます。
 7次計画では、安心して出産・子育てができ、子どもが健やかに育つよう、子育て家庭や取り巻く環境に対し支援の充実に向けて取り組んでいく。

施策 08 結婚活動を応援し、子育て支援サービスを充実させる
単位施策 03 子どもへの虐待を防止する

単位施策主管課【こども課】

成果指標の推移



No			No		
方向性			方向性		

単位施策の評価

成果指標2指標のうち1指標は基準値から順調に向上したが、1指標は大きく悪化しているため、単位施策は一部順調に進展していない。
 「虐待発生件数」が大きく悪化した要因として、全国的に児童虐待の相談件数が増加傾向にあることや、法改正等の影響により児童相談所からの事案送致が増加したこと等によると考える。
 7次計画では、引き続き関係機関との連携を強化し虐待の未然防止や早期発見・早期対応に努める。また、令和6年4月にはこども家庭センターを設置し、母子保健と児童福祉の連携を深め、個々の家庭に応じた切れ目ない対応や虐待の予防的対応を行っていく。

章 01 健康・福祉・子育て

節 05 子育て支援

施策 09 子どもが健やかに育つ地域社会をつくる

理念 ふれあい

施策主管課【こども課】

めざすまちの姿

地域の大人や若者が子どもの成長を見守り、支援をしている

施策の基本方針（総合計画から抜粋）

児童館が地域の大人や若者が気軽に訪問できる施設となっており、子どもを見守り、また、交流を持つことができる場所となるよう整備します。
また、子どもの遊び場と遊べる機会を充実させます。

施策実現のための財源投入状況

（単位：千円）

単位施策名称		R05年度予算	R05年度決算
01	地域に関わる団体などと児童館が連携し、積極的に子育て支援をする	5,293	4,909
02	子どもがいきいきと元気に遊ぶことができる環境を整備する	189,613	185,280
施策合計		194,906	190,189

まちづくり指標の分析

No	0012	No	0013
方向性	→	方向性	→
地域で子どもを育む活動をしたことのある大人や若者の割合		児童館総来館者数	
対基準値:1.1ポイント増／基準値からの推移:○ 10年後めざそう値達成率:15.7% 年齢別:差異有、職業別:差異有、地区別:差異有 要因:コロナ対策の活動制限等が長期化し、参加意識が低下したためと考える。若年層、学生が低い。		対基準値:34,477人減／基準値からの推移:× 10年後めざそう値達成率:-651.9% 地区別:差異有 要因:コロナ対策を前年度よりも緩和して館運営を行ったため、前年度より増加したと考える。	

めざすまちの姿に向けた達成度及び施策の評価

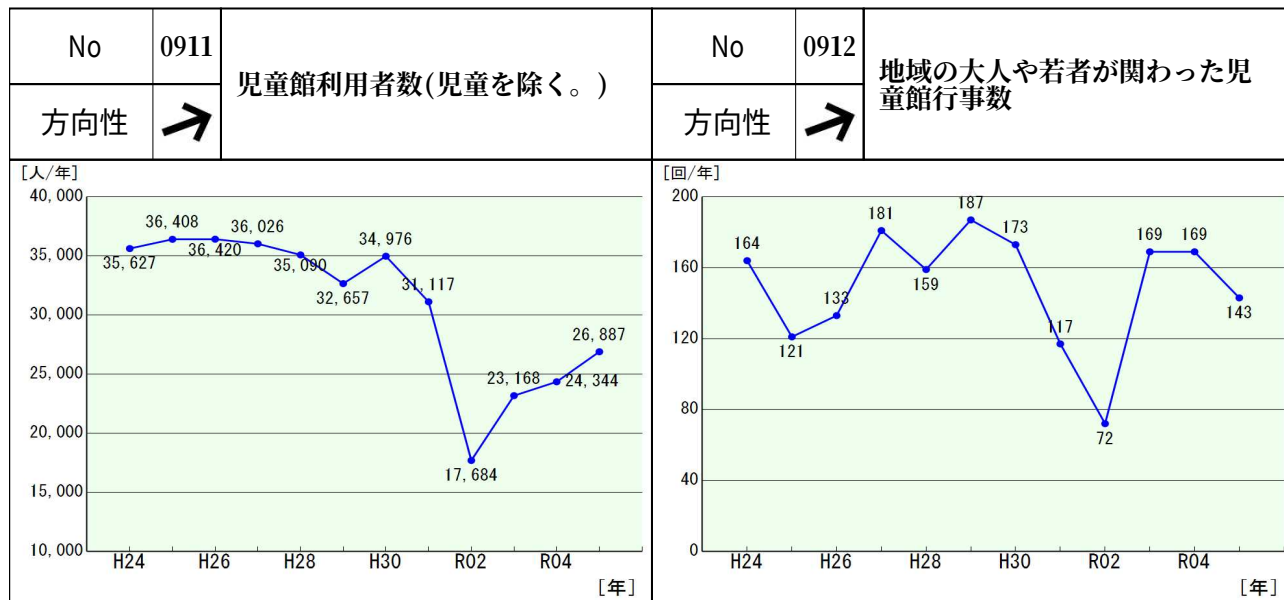
「地域で子どもを育む活動をしたことのある大人や若者の割合」はめざそう値達成率が15.7%と低く、「児童館総来館者数」は基準値から低下しており、施策は順調に進展しなかった。
児童館来館者数は、コロナが5類に移行した後は増加傾向にあるものの、新型コロナウイルス感染症対策により、イベント、人数、時間を制限して、運営したことで来館者数が減ってしまったことが要因と考える。
7次計画では、地域の住民が安心して利用できる児童館、児童遊園等の施設運営に努めることに加えて、利用者の増加につながる施設運営及び積極的な情報発信を行っていく。

施策 09 子どもが健やかに育つ地域社会をつくる

単位施策 01 地域に関わる団体などと児童館が連携し、積極的に子育て支援をする

単位施策主管課【こども課】

成果指標の推移



No			No		
方向性			方向性		

単位施策の評価

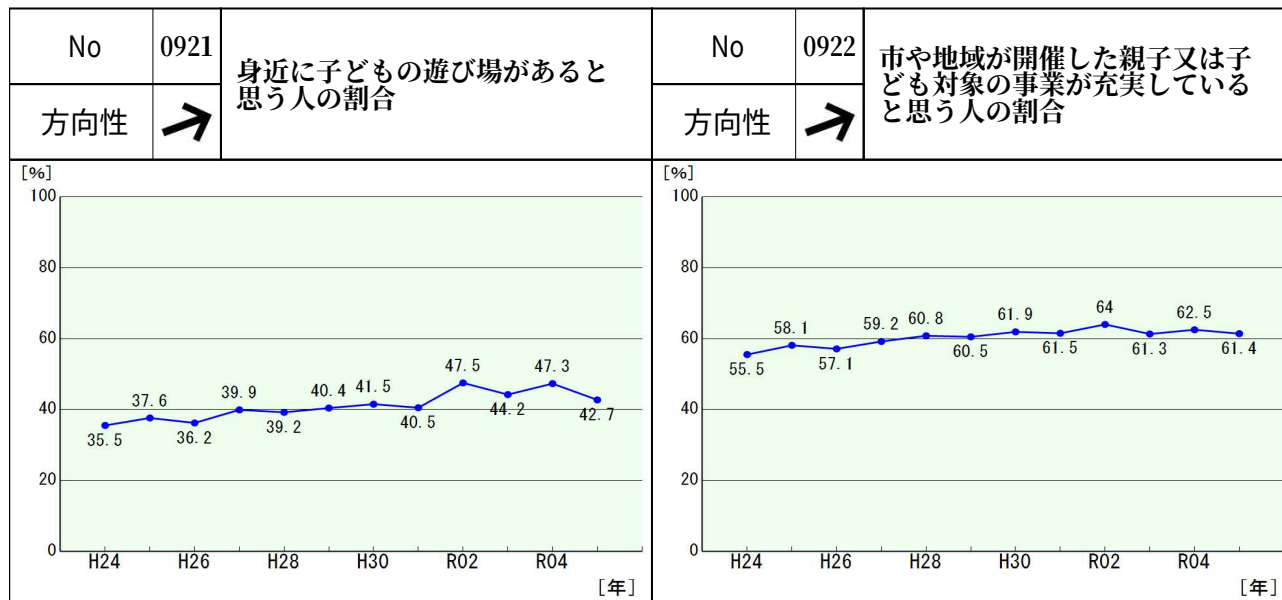
成果指標2指標とも基準値から低下しており、順調に進展しなかった。
 2指標とも、新型コロナウイルス感染症対策としてイベント、人数、時間等を制限し、館を運営したこと、また、令和4年度末に緑陽児童館が廃止されたこと等により、イベント等が減り利用者数が低下したことが原因と考える。
 7次計画においても、児童館は引き続き地域子育て支援拠点として、乳幼児のいる子育て中の親子の交流や育児相談、情報提供等の役割を担うことが期待されるため、地域ごとの特性を踏まえ、新規利用者やリピーターの増加を図るための方策を検討していく。

施策 09 子どもが健やかに育つ地域社会をつくる

単位施策 02 子どもがいきいきと元気に遊ぶことができる環境を整備する

単位施策主管課【こども課】

成果指標の推移



No			No		
方向性			方向性		

単位施策の評価

成果指標2指標とも基準値から順調に向上しており、単位施策は順調に進展した。

児童館や児童遊園等は、市や町内会・自治会によって適切に維持管理されてきたため、子どもたちが行きやすい場所・環境になっていると考える。また、児童館では、地域住民等と連携し、特色ある事業を展開したことも要因と考える。

子どもたちにとって身近な遊び場である児童遊園・ちびっこ広場の維持管理には、地域住民との連携が必要不可欠であるため、7次計画においても引き続き町内会・自治会と協力し、安心安全な管理運営に取り組んでいく。